

1,000 人を超える児童数、校庭の南側に校舎が建つ環境にあり  
芝生化して7年目を迎える今も全面芝生を維持している府中第二小学校。  
その秘けつは…



## みんなで関わる校庭の芝生は誇り 府中市立府中第二小学校

児童数：1,017名(平成28年5月1日現在)  
芝生化面積：3,908㎡  
芝生が完成した時期：平成21年度



### グリーンキーパーを中心とした維持管理

芝生化の翌年度に維持管理をするボランティア団体としてグリーンキーパーが立ち上がりました。芝刈り、肥料まき、雑草抜きなどの日常的な維持管理は、30人前後のグリーンキーパーを中心に行っています。人材確保や限られた時間で活動を行うことは容易なことではありませんが、保護者だけでなく、校庭利用団体や地域の方々にも声を掛けてボランティアの輪を広げ、当番を決めて活動しています。

～今年度からの新しい試み～

### ポット苗づくりを各家庭で



夏休み前に裸地となった部分にポット苗による補植作業を行っています。全児童が学校でポット苗を作りますが、今年度初めて各家庭でもポット苗を育ててもらおう試みを行いました。保護者からは「仕事の都合で継続的なボランティア参加は難しいけれど、家庭で育てることなら参加できる」「ポット苗を通じて校庭の芝生に関わったことで芝生に興味を持つようになった」という声が聞かれました。



### サンサンネットの効果に期待

平成28年2月に東京都庁で行われた「校庭芝生リーダー養成講座」に参加した際に、三鷹市の学校で取り組まれている芝生の“バンソウコウ”を知りました。光透過性の高い農業用防虫シートを張ることで踏圧による擦り切れを防ぐため、子供たちがいつでもどおり校庭を使用できるというもので、是非府中第二小学校でも試してみようということになりました。

冬芝の種をまいた後、サンサンネットをかぶせて様子を見たところ、発芽からの生育状況が良い結果となりました。ポット苗を植えた後にもかぶせると、夏休みが終わる頃には一面緑の芝生に回復。種まきや補植後は子供たちが校庭で遊べなかったり、芽がなかなか伸びずに悩むことがありました。サンサンネットをかぶせることで、子供たちの生活環境にとっても芝生の生育にとっても好ましい効果が見られています。



冬芝の種まきをした後、サンサンネットをかぶせる



2週間後

サンサンネットを被せた場所。緑が濃く芽が生長

## みんなで関わり、みんなで手入れをする芝生の校庭



8月下旬のある日、府中第二小学校の教室に、教職員、PTA、校庭利用団体の代表、グリーンキーパー、地域住民、芝生の専門家が集まって「芝生会議」が開かれました。今回のテーマは「冬芝の種まき」。学校行事の計画や校庭利用団体の意見を聞きながら、種まきに最適な時期を相談し、当日の役割分担や手順の確認を行いました。

府中第二小学校の芝生の維持管理には、たくさんの方が関わっています。多くの人の手が掛かれれば掛かっただけ芝生の状況が良くなっていきます。これだけ多くの方が関わっていることは、府中第二小学校の自慢です。一面緑の芝生も擦り切れている芝生も、府中第二小学校の芝生です。良好な芝生の状態を保つことは大事ですが、そのために何が必要かをみんなで考え、みんなで取り組み、「みんなで芝生に関わること」が何より大切です。

